

### 1 目指す学校

- 1 確かな学力とともに、自己実現に努力する意志と生涯学び続ける意欲とを育む学校
- 2 学校行事や部活動などを通じて、社会性や規範意識を育む学校
- 3 国際化や情報化が進む社会の中で、主体的に生きる資質や能力を育む学校
- 4 進学校として、保護者および都民の期待と信頼とに応え実践する開かれた学校

### 2 中期的目標と方策

中 期 的 目 標	方 策
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「わかる授業」を通じて、確かな学力とともに生涯を通じて「学ぶ力」を育成する。</li> <li>2 教科指導等を通じて「書く力」やプレゼンテーション能力、情報リテラシー等の育成を図る。</li> <li>3 学習指導要領改訂をふまえ、「大学入学共通テスト」に対応するよう、授業内容や評価方法等の改善・検討を進める。</li> <li>4 進路相談とともに受験指導を充実させ、個々の第一志望の実現を目指す。</li> <li>5 特別活動の充実とともに「自律」を促す生活指導により社会性や規範意識の育成を図る。</li> <li>6 国際交流を通じて異文化や自国文化への理解を深めさせ、共生の視点を育成する。</li> <li>7 理数に興味のある生徒の能力を伸長するとともに、科学的に探究する能力や態度を育成する。</li> <li>8 学習環境の美化・整備を通じて、環境への視点を育成する。</li> <li>9 積極的な学校開放と情報発信に努め、本校への理解を広げる。</li> <li>10 オリンピック・パラリンピック教育を積極的に推進する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①校内研修、授業評価等の活用</li> <li>②教科ごとの学習指導計画の充実</li> <li>③学力スタンダード及び学力調査の活用</li> <li>④新学習指導要領・大学入学共通テストへの情報収集と教科横断的な対応</li> <li>⑤自学自習の習慣と表現力の育成</li> <li>⑥組織的進路指導と進路相談の充実</li> <li>⑦休業期間の進路補習、土曜授業の活用</li> <li>⑧竹早祭等、学校行事の質的向上の推進</li> <li>⑨規律ある授業態度、時間遵守の姿勢の育成</li> <li>⑩いじめの未然防止、体罰の根絶</li> <li>⑪都立高校生活指導統一基準の活用</li> <li>⑫部活動・学校行事と学業の両立</li> <li>⑬海外帰国生徒教育の充実</li> <li>⑭英語教育推進校事業の実施</li> <li>⑮理数研究校事業の実施</li> <li>⑯美化・清掃活動の指導の徹底</li> <li>⑰保護者・同窓生との連携、外部教育力の活用</li> <li>⑱創立120周年（平成32年）に向けた準備</li> <li>⑲HP、学校見学会等情報発信力の強化</li> <li>⑳生徒の体力向上を図る取組の強化</li> </ol>

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### 【教科指導】

- 目標：
- (1) 授業第一主義の徹底、自学自習の態度、習慣の育成。
  - (2) 「書く力」やプレゼンテーション能力の育成。
  - (3) 到達目標に基づき指導計画を共有し確かな学力の定着を図る。
  - (4) 「大学入学共通テスト」に対応した、授業内容の改善

- 方策：
- ①宿題、週末課題の精選、定期考査の難易度向上、問題量の工夫等による家庭学習の習慣化。
  - ②図書館利用の促進、レポート作成や意見発表等の機会増を図る授業の工夫。
  - ③「教員相互の授業参観」の組織的な実施による授業力の向上。
  - ④外部講師や進路部による大学入試に関する教員研修の実施。
  - ⑤「教科主任会」等を活用した、教科横断的な情報の共有と指導の体系化。

##### 【進路指導】

- 目標：
- (1) 補習・補講の充実、模試データの活用等による進学指導力の向上。
  - (2) 進路相談および進路情報の発信力の強化。
  - (3) 「先輩」「帰国生」に学ぶキャリア教育の実施。

- 方策：
- ①「パッケージ方式」の夏期講習・直前講習、「センターマラソン」の継続実施。
  - ②教科・学年・進路部の連携による模試対策、模試分析の実施。
  - ③1学年の2年次文理選択の指導を通じた早期からの進路指導の充実。
  - ④2学年の3年次コース選択の指導を通じた高い目標を維持する進路指導の充実。

## 【生活指導】

- 目標： (1)人権尊重の意識の醸成を通じての豊かな人間関係の形成。  
(2)都立高校生にふさわしい節度ある態度の育成。  
(3)学校行事の質的向上による学校生活の充実。  
(4)学習環境の整備・美化。
- 方策： ①各種集会やホームルーム活動、アンケート等での、いじめや自殺を予防する指導の徹底。  
②安全通学指導、挨拶の励行、頭髪指導による頭髪染色生徒の皆無化。  
③遅刻指導及び自宅学習時間の確保に向けた下校指導の実施。  
④実行委員への指導を適切に行うことによる体育祭、文化祭、合唱祭の質的向上。  
⑤清掃指導の徹底による環境美化、ごみの減量。

## 【その他の活動】

- 目標： (1)募集活動を徹底と情報発信の充実。  
(2)施設設備の安全と教育環境の維持向上。  
(3)創立120周年を見据えた関連団体との連携の強化
- 方策： ①「学校見学会」「学校説明会」の参加人数の増加及び「塾対象学校説明会」の実施。  
②ホームページの有効活用  
③校内組織の構築と同窓会等との連携、及び活動状況の周知。

## (2) 重点目標と方策

### ① 学習指導の充実

- ア) 「書く力」と「自学自習の態度」とを育成する授業、チャイムで始まる授業の継続。  
イ) 教科会の充実とOJTによる教科指導力の向上。  
ウ) 1年次における具体的な学習方法の習得、講習、課題学習等を通じた国・数・英の基礎力定着。

### ② 進路指導の充実、進路志望の実現

- ア) 大学受験問題等の研修に努め、夏期講習等の内容充実を図る。  
イ) 模試、センター試験、学習状況調査等のデータ分析で、第一志望実現を支援する。  
ウ) 外部の教育力を生かしたキャリア教育で進路意識を育てる機会の確保、早期実施。  
エ) 進学準備への意識啓発のための進路相談会や保護者会等での情報発信を強化する。

### ③ 規範意識と社会性を育成する指導

- ア) 時間遵守、挨拶励行、環境美化を重点的に指導し、安全で安心な学校生活を保つ。  
イ) 部活動の充実により、参加率、競技力等を向上させ、自主自律の気風や社会性を育成する。  
ウ) 学校行事や宿泊体験活動を活用し、自他の尊重の精神、社会の一員としての責任感を育成する。

### ④ 教育環境の整備等

- ア) 自学自習の環境整備を中心に学習環境の条件整備を継続する。  
イ) 安全管理の徹底と補修・修繕等の計画的実施のほか、緊急対応に留意する。  
ウ) 防災教育の充実にも努め、緊急時の危機管理体制について整備し周知徹底する。  
エ) 図書室の環境整備に努めるほか、教科指導と連携し読書活動を推進する。  
オ) 学校HPおよび学校案内等について、その内容や速報性等の充実を図る。  
カ) 計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底することで、教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図り、気力あふれる教育環境とする。

## (3) 具体的な目標

- ①進学指導を一層充実させ、国公立大学合格者数の増加を図る。難関国公立大学（東京大、京都大、東京工業大、一橋大、医学部医学科）合格者7名、国公立大学合格者70名、難関4私立大学（早稲田大、慶応大、上智大、東京理科大）合格数100名を目標とする。
- ②進学指導の充実に向けた具体的な目標を次のとおりとする。  
ア) 年間を通じて自習室を設定し、開室時間を可能な限り19時までとし利用者増を図る。  
イ) 竹早塾の平日実施について周知し、自習室の利用者増を図る。  
ウ) センター試験において、全国平均の110%以上と8割以上得点者の10%増を目標とする。
- ③出欠指導を適切に行い「遅刻・欠席計20回以上」の出席不良者数を3%以内とする。
- ④部活動への意欲を高め、学業との両立を高いレベルで追求させるための目標を次のとおりとする。  
ア) 下校指導により「効率的な活動」を意識させ、29年度を上回る競技成績を目標とする。  
イ) 学業との両立を意識させるため各部活動ごとに学習状況を集約して年2回の指導を行う。  
ウ) 部活動状況の報告などHPの月4回の更新、掲示物の月1回の更新を通じて顕彰、奨励する。
- ⑤本校教育活動への理解を広げるための目標は次のとおりとする。  
ア) 募集活動への組織的取組により、中進対の倍率2.3倍、一次応募倍率2.3倍目標。  
イ) 進学のための保護者会や三者面談等の周知に努め、進路情報への肯定的評価を高める。